

23 草地関連基盤整備<公共>

[平成31年度予算概算決定額 8,285 (6,855) 百万円]

<対策のポイント>

飼料生産基盤に立脚した力強い畜産経営の実現を図るため、畜産経営規模の拡大や畜産主産地の形成に資する飼料生産の基盤整備等を推進します。

<政策目標>

- 飼料自給率の向上（26% [平成25年度] → 40% [平成37年度まで]）
- 飼料作付面積の拡大（89万ha [平成25年度] → 108万ha [平成37年度まで]）

<事業の内容>

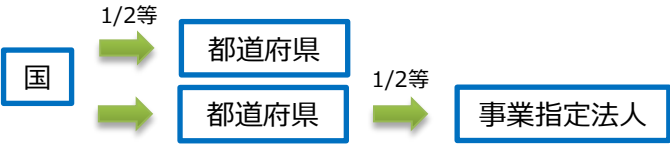
1. 大型機械化体系に対応した草地整備

- 大型機械による効率的な飼料生産を推進するため、草地の整備、排水不良の改善等の整備を推進します。
〔【主な工種】草地の区画整理、暗渠排水 等〕

2. 泥炭地帯における草地の排水不良の改善

- 効率的な飼料生産基盤を形成するため、土壌の特殊性に起因する地盤の沈下による草地の湛水被害等に対処する整備を実施します。
〔【主な工種】整地、暗渠排水、排水施設 等〕

<事業の流れ>



※ 事業実施主体が国の場合は、国費率3/4

<事業イメージ>



[お問い合わせ先] (1の事業) 生産局飼料課 (03-6744-2399)
(2の事業) 農村振興局防災課 (03-3502-6430)